

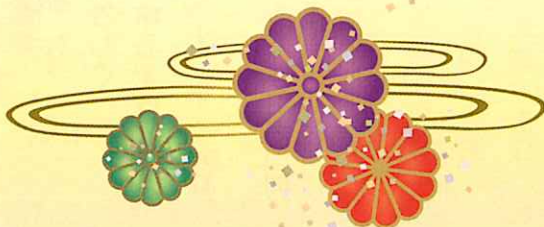
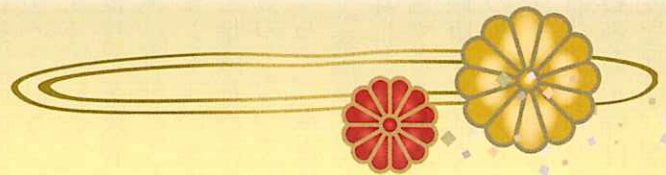


新春号

# 伊勢シルバー

第26号

発行：編集 平成31年（2019年）1月1日  
公益社団法人 伊勢市シルバー人材センター  
〒515-0505 伊勢市西豊浜町141-1  
伊勢志摩総合地方卸売市場2F  
電話 0596-37-7170 FAX 0596-37-7172  
ホームページ：<http://www.ise-sc.jp>



作品提供 平成30年1月3日深夜の外宮さん  
大湊地区 金子 政文さん

# 賀正



理事長 角前 明

## 年頭のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆さまには清々しい新春をお迎えのことと、心よりお慶びを申し上げます。

本年は、天皇陛下の御退位により新しく元号が変わる年でございます。このような歴史的な年に、伊勢市シルバー人材センターは、設立三十年の節目を迎えることとなりました。

これも会員の皆さまのご努力、そして市の行政や商工会議所の関係者各位の暖かいご支援とご協力を頂いてのおかげと、心より感謝を申し上げます。

さて、わが国では少子高齢化が進み人口が減少している中で、シルバー人材センターは、地域の日常生活に密着した就業機会

を提供することで、高齢者の「居場所」と「出番」をつくり、「生涯現役社会」の実現を果たす役割を担っており、併せて、高齢者の生きがいの充実、地域社会の活性化と医療費や介護給付費の削減に寄与しており、シルバー人材センターの果たす役割の重要性と地域社会の期待は一層大きなものとなっております。

ところで、最近「平均寿命」より、「健康寿命」という言葉がよく耳にします。それは、単に長生きすることよりも、いつまでも健康な生活を送ることが何よりの願いであり、日々充実した人生を送れるかが重要といわれる時代でもあります。

健康寿命を伸ばすには、日頃の適度な運動、規則正しい食事と併せて心の健康が大切だそう

ですが、やはり最も大切なことは、地域とのつながりを持ち、地域社会から必要とされることだと考えます。

このことから、シルバー人材センターの会員の皆さまには、就業を通しての生きがいを持ち、地域の人々との交流を深め、充実した日々をお過ごし頂きたいと願うものであります。

以前より、会員の皆様には「一会員一声運動」として仲間を増やす運動への参加をお願いしています。また、「女性の会」の皆様には、ボランティア活動や伊勢まつりなどへの参加を通してセンターの普及啓発を實踐して頂いています。

そのおかげで、当センターへの入会者が増加しておりますこと、大変うれしく喜びでもあります。今年も当センターが、お客様から「親しまれ信頼されるシルバー人材センター」となるようご協力をお願いいたします

とともに、シルバー人材センターの重点目標であります「安全はすべてに優先する」を基本とし「無事故就労」を心掛けて頂きますことを願うものであります。

結びにあたり、会員の皆さま並びにご家族の皆さまのご健勝を心からご祈念申し上げ新年の挨拶とさせていただきます。



### 謹賀新年

本年もよろしく

お願い申し上げます

平成三十一年 元旦

役員一同

- 理事長 角前 明
- 副理事長 中村 博明
- 常務理事 中川 芳明
- 理事 井坂 裕行
- 理事 大塚 雅俊
- 理事 小野 敬司
- 理事 北川 克己
- 理事 北川 幸博
- 理事 黒瀬 恵子
- 理事 近藤 慶満
- 理事 下井 経夫
- 理事 鈴木 正人
- 理事 中崎 茂
- 理事 中辻 一恵
- 理事 森本 千賀子
- 監事 岩崎 良文
- 監事 山崎 隆子

(五十音順)

# 迎春



伊勢市長 鈴木 健一

## 年始ご挨拶

新年あけまして、おめでとございます。

伊勢市シルバー人材センターの会員・役員の皆様、並びにシルバー事業にご尽力いただいております関係者の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのことと、謹んでお慶び申し上げます。

また、平素は市政各般にわたり格別のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

現在の雇用情勢に目を向けますと、高い水準で有効求人倍率が推移し、労働力の確保が喫緊の課題となっています。一方、国の調査では高齢者の約8割が高い就業意欲を持たれていると

の報告がされており、高齢者の方の多様なニーズに対応した就業機会の提供が重要となっております。

そのような中、貴センターにおかれましては、官民の事業所から一般家庭まで、福祉・家事・援助サービスをはじめとした幅広い分野への就業支援を行っていただいております。貴センターに対する期待は益々高まるばかりでございます。

会員の皆様お一人おひとりにおかれましても、就業を通じて生きがいの充実と健康の維持を図られるとともに、これまでに培われた豊富な経験と能力を活かして地域社会にご貢献いただ

きますようお願い申し上げます。さて、地域の中核病院として、また防災の拠点としての役割を担う新市立伊勢総合病院が1月に開院します。新病院では、急性期医療・救急医療を担うとともに、回復期リハビリテーション病棟の充実、地域包括ケア病棟の拡充やホスピス病棟の新設など、将来的に不足が予測される機能の確保を図っていくこととしていきます。「人間性豊かな市民病院」という理念のもと、地域の医療機関と連携し、切れ目のない医療の提供に努めてまいります。

また、本年は、新元号となる記念すべき年であり、心機一転の絶好の機会となります。気持ちを新たに、諸課題の解決に向けて全力で取り組んでまいり存でございますので、貴センターにおかれましてもさらなる飛躍への始まりの年となるよう、会員の皆様の団結のもと一層の取組をお願いいたします。

結びに、伊勢市シルバー人材センターの益々のご発展と会員の皆様、ご家族の皆様のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

## あけましておめでとうございます

### 会員互助会役員一同

- 会長 村井 清吉
- 副会長 牛場 伊都子
- 副会長 金森 泰彦
- 副会長 中村 博明
- 会計 井坂 裕行
- 幹事 芝 武宏
- 幹事 松井 孝彦
- 幹事 眞野 昭義
- 幹事 豆原 幸子
- 幹事 豆原 保
- 監事 中川 芳明
- 監事 中崎 茂

(五十音順)

### 事務局職員一同

- 事務局長 中川 芳明
- 事務局次長 東端 弘泰
- 総務・経理担当 奥野 美幸
- 業務担当 南 進
- 業務担当 中津 希与美
- 業務担当 鎌谷 美穂
- 業務担当 渡部 舞

## 新道の「伊勢の夜祭」に参加して

森本 千賀子



7月21日新道「伊勢の夜祭」に今年も参加しました。子供たちと輪投げやボーリングを、私たちも子供達同様に楽しませていただきました。店頭で女性の会の作品を販売しながら、たくさんの人と会話をできたことが、とてもうれしく楽しい時間でした。

このような時間をこれからも大切にしたいと思います。



## 「伊勢まつり」に参加して

牛場 伊都子

10月7日台風一過で伊勢市シルバーの参加した日は、晴天に恵まれたお天気になりました。尼辻のイベント広場にシルバーのブースを設け、普及啓発にアンケートと粗品を配布、その横で女性の会の手芸サークルが手作りした品々を沢山ならべて販売しました。

昼からは本部前で女性の会の人や協力いただいた他の方々とで、伊勢音頭他4曲を踊らせて頂きました。観客の方も飛び入りで参加してもらい大変賑やかな踊りになりました。沢山のの人に踊って頂きありがとうございました。



アンケート



女性の会 作品販売



伊勢音頭

## 福祉フェスティバルに参加して

豆原 幸子

10月8日今年もサンアリーナで福祉フェスティバルが開催されました。前日の伊勢まつりに参加した後でしたが17名の会員が協力しました。ペットボトルのボーリング、子供たちが好む絵を置いた輪投げ、色紙を使用した「コマ」作り、ピカチュウ等のぬり絵を準備しました。当日はお天気も良く大勢のお客さんが足を運んでくれました。準備したティッシュ、お菓子等は途中でなくなり嬉しい悲鳴を上げました。忙しかったけれど子供たちと接して癒しや喜びをもらい、充実した一日を終わらせていただきました。



輪投げ



ボーリング



折り紙とぬり絵

## シルバーいきいきフェスタ 2018に参加して

長谷川 安子

10月25日三重県総合文化センター（津市）でシルバーいきいきフェスタが開催されました。多目的ホールに展示された各市シルバーのパネルには一年間の行事、色々な出来事を載せていました。伊勢市シルバーのパネルを見て、色々な事が思い出され嬉しかったです。

アトラクションでは、志摩市シルバーの「左官職人こねたろう」が大変面白かったです。また、いなべ市シルバーの「元気体操」は都はるみの「好きになった人」を会場の皆さんと唄い、ハンカチを振り体操をしました。来年はどんなアトラクションを見られるか楽しみです。



司会の伊勢市シルバー豆原幸子さん



赤いハッピーの伊勢市シルバーの皆さん

# 会員の広場



今年の年男・年女は84歳の方が7名、72歳の方が73名です。84歳から2名と72歳から8名の会員さんに、次の内容について寄稿いただきました。(年齢・会員番号順記載)

①趣味として楽しんでいること  
②これからの抱負・目標

## 明倫地区 大西 康子

①私は戦前・戦後の育ちです。で、どんな小さな端切れでもしまっておくのが趣味です。半年ぐらい前に、知人からカスリ模様反物を戴いて、嬉しくて眺めてばかりいたので、それで着ることもできないので、最近ではモンペ作りをしています。その他の趣味としては、荷造り用テープをとっておき、柿取りかごを作っています。  
②私は昭和10年生まれ、84歳で

す。いつしか人並みに年を重ねてまいりましたが、シルバー人材センターに入会させていたいただいたのが平成13年でした。今まで続けさせていたいただきましたのも、シルバー人材センターをはじめ会員の皆様のご理解があつてこそと感謝しております。平成も今年で終わりますが、これからもシルバー人材センターが益々繁栄していくことを心よりお祈りいたします。

## 小俣3地区 松本 範子

①55歳になってから民謡踊りを習い始めました。まだ仕事をしておりましたので思うように勉強もできず、65歳になって仕事を辞め、勉強をして免許を頂き今は趣味の程度で楽しんでおります。また、学生時代の友達5人で、年5回程の旅行を楽しんでおります。  
②あと1年、女性の会の皆様と月1度の手芸品作りや趣味を習って、楽しみたいと思います。一昨年県のいきいきフェスタで、皆様と心を一つにして踊れたのが何よりの思い出です。今まで蒔いた種が、これからどんな立派な花を咲かせてくれるのか楽しみにして、1年後仕事を終わりたいと思います。十余年楽しかったです。



## 有緝地区 久保田 宮子

①以前なら趣味と問われたら即「読書」と答えたと思う。ここ数年本は手にしていない。今は韓ドラ歴史物、ロマンとスリル、この時代はこの王朝と、少しかじったハンゲル語を頭に置きながら毎日テレビの前に座っている。  
②今年年女、残りの時間はそう長くない。心の中で終活を始める？いやまだ早い。友との長電話、同窓会の旅行、孫たちの成長、楽しみは一杯ある。まずは健康に気を付けて最後に人生悪くなかったと思えるように。

## 豊浜地区 中村 公

①シルバーさんの仲間に出会い、サークルなどの誘いもある。

り、ハイキング程度の野山を歩き、近くの道などをストレッチとして楽しんでいきます。また、子育て時代の5人の友とランチにおしゃべりなどで時の経つのも忘れ、話はずきません。  
②シルバーさんより2日仕事を頂き、充実した日を過ごしています。古希を過ぎ、11月に2人目の孫が誕生する。時々会いに行けるように健康第一に思っています。

## 二見3地区 北岡 常正

①私は、以前はゴルフなどの趣味はありましたが、最近は何にもなく、地域の役員をして趣味の時間が無くなっています。今年の5月からは「二見まちづくりの会」会長を拝命し、二見町のいろんな事業・活動をしています。  
二見まちづくりの会とのかかわりは、5年前に区長(自治会長)をしていた時に環境美化委員長に、本年度からは前会長の退任により会長になり、委員の協力を頂きながら、いろんな活動をしています。  
二見まちづくりの会を一部紹介させて頂きますが、2大行事(カエルキャラバンとハロウィンまつり)の実行委員会と、5つの委員会(文化教育・

健康福祉・防犯・防災・環境美化)があつて、それぞれの事業を展開しています。

②今のシルバー人材センターの仕事を行いながら、時間の調整をして二見まちづくりの会の会議と行事に参加をしている毎日です。これからも、シルバー人材センターの仕事の頂きながら、又まちづくりの活動を通じ、地域に貢献していきたいと思つています。これからもよろしくお願ひします。

### 小俣2地区 近藤 慶満

①定年後、土に触れたくて経験はないが、何事もチャレンジと水土里プロジェクトおぼたの、野菜作りに参加しています。畑を耕し、種を蒔き、水をやり、すくすく育つ野菜を見るのは楽しいものです。

天候や土の状態、種蒔きの時期、水やりのタイミングによつては失敗も多く、野菜も生き物、正直なものです。また、畑で食べるオニギリは最高です。

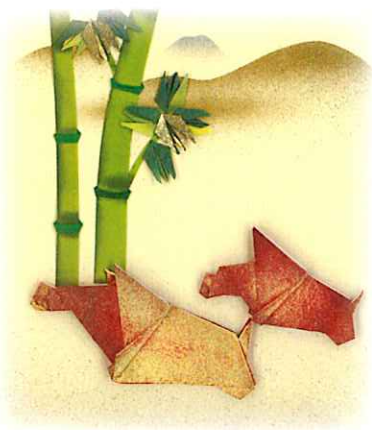
②干支を陸上競技のトラックに例えれば、6周を走り終えたことになりません。もう一周走り終えれば84歳になります。自分的には天文学的数字に思えます。しかし、シルバー人

材センターで働く多くの会員の皆さんと知り合い、楽しいひと時を過ごすことは、大きな支えであり、さらなるチャレンジへの意欲づけとなります。何時までも皆さんと働き続けたいと思ひます。

### 小俣5地区 加藤 彰

①これと言つて打ち込んでいる趣味はありませんが、これからもいろいろなやつてみようと思つています。

②健康に留意し、四季折々の自然を感じながら身近で楽しむことができればと思つています。



### 小俣3地区 太田 茂男

人生六廻り目に生きる今までの人生をふりかえると、良い時悪い時はそれなりに、大して威張れることもなく、一般的な平々凡々とした71年間を送ってきた様に思つている。

人生六廻り目を迎えるが、あと10年程は何もなければ生きるだろうが、何か目標を持つても時間が足りないのである。結局自分の身体に気をつけ、家族の幸福や友達の健康を気遣いながら「死ぬ時はコロッと」を目標に平々凡々と生きるのである。

### 神社地区 國樹 一夫

①これという趣味は、特にありません。毎日毎日をインターネットでニュースや情報を探したり、飼い犬と遊んだり、庭で鉢やプランターで育てている花や野菜の成長を眺めている今日この頃です。

②毎日をばげずに元気に過ごすことが、私の抱負と言えます。シルバーで紹介していただいた週3〜4日の定期的な仕事と、毎日の6km、1時間の歩

行が、規則的な生活となり、健康な毎日を過ごしています。

### 神社地区 田中 敏伸

①若い頃は、空に憧れハンググライダーを始め、青山高原やスカイライン上空を飛び回っていました。時には木の上に着したり、十数メートルの高さから真つ逆さまに墜落したり、冒険の日々でした。その後、テニス、ゴルフ、陶芸などに挑戦してきました。退職後は趣味を兼ね、奉仕活動として仲間と、伊勢おもちや病院を立ち上げ、子供たちの壊れたおもちゃの修理を始めました。活動を始めた数年ですが好評です。八日市場の福祉健康センターで、1回/月・第2土曜日に開院しています。

②60歳から、お伊勢さんマラソン5〜10kmの部に参加、結果はいつも真ん中より下で、なにくそと2〜3回/週、ジムでトレニングに励んでいます。また、シルバー人材さんの紹介で、週に3回仕事をするなどまだまだ元気です。これからも気持ちだけは若々しく、毎日を忙しく過ごしたいと思ひます。

# 地区連絡会活動状況

平成30年4月1日～11月11日での、活動状況を内容別に報告します。

## 清掃活動

有緝、中島、明倫、小俣1、小俣4、小俣5、宮本・沼木、二見1、北浜各地区連絡会は、道路等に落ちているゴミ、空き缶を拾う清掃活動を行いました。



写真は小俣4地区

## 親睦会

浜郷地区連絡会は、会員同士の交流を深めるため親睦会を開催しました。



## 防犯講習会

二見1・2・3地区連絡会は、伊勢警察生活安全課、市危機管理課、伊勢度会地区生活安全協会から講師による防犯講習会を開催しました。



## 秋まつり参加

大湊地区連絡会は、大湊町主催の秋祭りに参加しました。子供たちとペットボトルボーリングや輪投げをして遊びました。



# 通常総会と設立30周年記念行事のお知らせ

下記のとおり通常総会を予定しています。

本年は、シルバー人材センター設立30年になりますので、平成31年度(2019年度)通常総会開催時に設立30周年記念行事を開催します。

ご案内は、別途致しますのでご参加いただきますようお願いいたします。

## ● 平成31年度(2019年度)通常総会 設立30周年記念行事

**日時** 2019年6月7日(金)  
 記念式典 午後1時から  
 通常総会 午後2時から  
 記念講演 午後3時から

**場所** 伊勢市生涯学習センター  
 (いせトピア 多目的ホール)

## 募集

設立30周年記念行事の一つとして、会員さんの絵画(油彩画、水彩画、水墨画)、書(毛筆、ペン字、篆刻)、写真、絵手紙、伊勢型紙、パッチワークなどの作品展を計画しています。

募集案内については2月下旬頃に送付します。多くのご参加をお待ちしています。

(30周年記念事業実行委員会)



## ●● 会員互助会旅行 ●●

会員相互の親睦を深めるために、一泊旅行と日帰り旅行を次のとおり実施いたしました。参加いただいた会員の皆様、また企画から旅行終了までお世話いただきました行事部会の皆様、お疲れ様でした。

### 一泊旅行 (11月12～13日) 一白浜温泉と高野山奥之院を参拝一

今回の互助会の一泊旅行は、私にとって初めての「高野山参拝」でした。

標高約900m級の奥深い山の中にある歴史ある霊場。一の橋から2kmにわたる奥之院参道を、何万とある歴史上の有名人の石塔の中から、知っている名前を探しながら興味深く歩きました。案内人の熱き説明で「供養」の意味を認識した旅行でした。(中辻 一恵)



熊野速玉大社御神木の前で



互助会村井会長の挨拶



高野山奥之院参道入口



地図の前で案内人の説明を聞く

### 日帰り旅行 (11月19日) 一世界文化遺産 京都 醍醐寺を巡る旅一



黄桜・伏水蔵(ふしみぐら)で昼食

最初の訪問地・黄桜で昼食、見学・試飲・買物を楽しんだ後、世界文化遺産・醍醐寺を訪ねました。唐門前で集合写真を撮った後自由散策、三宝院表書院(国宝)や庭園、五重塔、観音堂(西国11番札所)、そして折しも秋季特別展開催中の霊宝館では仏像、絵画、工芸品などを見学、楽しく一日を過ごしました。(芝 武宏)



国宝・三宝院唐門前で



豊臣秀吉が設計した三宝院庭園



国宝・五重塔(951年完成)

# 安全就業ニュース

## ～事故ゼロをめざして～

安全適正就業パトロール員  
近藤 覚



### 1 上半期の損害賠償事故件数の推移

年度 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
30年度	0	1	1	1	1	4	8
29年度	3	0	4	1	0	2	10

### 2 作業別損害賠償事故件数（30年度上半期）

作業名	剪定	草刈	その他	合計
事故件数	1	6	1	8

### 3 会員就業中の傷害事故件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
事故件数	0	0	1	4*	1	0	6

※7月中の傷害事故4件は、就業中に蜂にさされたものです。

- 上表のとおり平成30年度も残念ながら草刈等による損害賠償事故件数が多くなっています。事故が発生した場合には、安全委員と当事者・班長により、現場検証を行い事故の改善策について検討し、再発防止に努めています。
- 作業は安全第一を心がけ、急いだりあわてたり無理しない。健康には常に注意し健康状態で就業して事故防止を図って下さい。
- 近年は、異常気象により全国的に熱中症が多数発生しています。会員におきましても、昨年は数名の方々が熱中症で病院を受診しました。熱中症の予防対策は、休憩、こまめな水分補給、塩分補給を心がけて下さい。



草刈就業中の飛石事故  
ブロック塀を飛び越えて、駐車してあった車の窓ガラスを破損



あなたのお困りごと聞かせてください

伊勢市生活サポートセンターあゆみは、平成29年4月から伊勢市福祉健康センター内に設置し、社会福祉士等の専門資格をもつCSWと呼ばれるコミュニケーションソーシャルワーカーを配置して、生活における様々な困りごとの相談に応じています。

「相談を断らない」「解決をあきらめない」をモットーにした相談窓口として、介護や障がい、子どもの相談だけでなく、40代や50代のひきこもり、心に不安を抱えた方、生活困窮等、これまでの制度では十分に対応できなかった事に対して、一緒に考え具体的なプランを作成し、相談者に寄り添いながら自立に向けた支援を行っています。

29年度相談件数

新規相談	346件
延べ相談	3,467件

また、様々な機関と連携することで、地域の住民が抱えて困っていたゴミ屋敷問題等を解決に向けて、一緒に取り組むことが出来るようになりました。  
 これからも、相談者が一歩ずつ前に歩いていけるように、しつかり寄り添いサポートします。



さらに、地域全体の福祉力を強化するために地域住民や専門機関等との連携を図るための会議を定期的開催し、顔の見える関係づくりや新たな仕組みの開発に努めています。

「困りごとはあるけど、どこに相談したらよいかわからない」「家族がひきこもっていて心配」「近所に物があふれている家がある」等、一人で悩まず、こんなこと・・・と思わず、まずはあゆみにご相談ください。



お問い合わせは  
 伊勢市生活サポートセンターあゆみ  
 ☎ 0596-63-5224

事務局だより

会員募集

当センターでは、伊勢市在住で原則60歳以上の健康で働く意欲のある人を募集しています。

会員の皆様には、友人や知人の方に一声掛けていただき、入会のお誘いをお願いします。

ご紹介いただいた方が入会された場合は、紹介会員さんへ、心ばかりのお礼をさせていただきます。(事前に事務局へ連絡してください。)

入会説明会

●日時 毎月第2金曜日(3月を除きます。)

午後1時30分～(午前から変更になっています。)

●場所 伊勢市西豊浜町一四一一

伊勢志摩総合地方卸売市場2階事務所

※必要書類がありますので、事前に事務局までお問い合わせください。

☆☆会費納入のお願い☆☆

平成31年度の会費(2,400円)と互助会費(1,000円)、あわせて3,400円です。

つきましては、4月15日に引き落としとなりますので、それまでにご準備をお願いします。なお、退会をされる方につきましては、事前に事務局まで連絡してください。

配分金支払証明書の送付について

平成30年1月～12月分就業の配分金支払証明書は、平成31年1月15日頃、圧着はがきで発送予定です。

しるばー応援隊サービスの仕事に従事していただくにあたって!

会員の方が「しるばー応援隊」の仕事に従事する際には、伊勢市社会福祉協議会が実施する「伊勢市生活支援サポーター養成講座」の受講修了者かそれと同程度の受講修了者であることが求められます。

会員の方で、上記の養成講座を受講された場合は、事務局へ連絡願います。

会員の皆さんへ  
確定申告のお知らせ

今年も確定申告の時期が近づいてまいりました。

皆さんが受領した「配分金」収入は、必要経費を控除した金額を「雑所得」として、所得税の確定申告をする必要があります。

平成30年分の所得税の確定申告期間

平成31年2月18日(月)から

平成31年3月15日(金)

配分金に係る雑所得の計算方法

1. 配分金収入から必要経費を控除した金額です。

2. 必要経費の額が65万円未満の場合は、収入金額を上限として65万円を控除することとなります。

(注)シルバー人材センターからの収入のほかに給与収入や事業所得及び公的年金以外の雑所得がある場合は、65万円から給与収入金額や事業所得と公的年金以外の雑所得の必要経費を差し引いた差額でしか控除できませんのでご注意ください。

3. 詳しくは、税務署や市役所課税課市民係へ相談してください。

◆◆編集後記◆◆

明けましておめでとうござい  
ます。本年もよろしく願っています。

伊勢市シルバー人材センターは、平成元年4月に設立されました。今年で30年になります。設立時に60歳で入会された人は今年90歳になります。90歳になる方はいますが、残念ながら設立時の入会ではありません。それでも健康寿命の点を考えると、すごいことと敬意を表します。当シルバーの会員全体の平均年齢は、71・7歳です(平成30年3月現在)

今年72歳の年男男女女の方がほぼ平均年齢に相当します。まだまだもう一回り頑張れるのではないのでしょうか。

表紙の写真は説明文にありますように、正月深夜の外宮さんの参拝光景です。年末と年始の期間は終日参拝が可能になります。昼間と違って混雑せず、厳粛な光景が見られる深夜の参拝をお勧めします(撮影者談)

会報編集委員 芝 武宏

昨年、寄稿のお願いをした際には、快くご協力いただき、ありがとうございました。今年もまた何かとご無理をお願いすると思いますのでその節には何卒よろしく願っています。